



補欠ゼロリーグは、キッズ年代（10歳以下）の子供たちに「年間を通して定期的に試合ができる環境」を提供するため、2004年にスタートした岩手県独自の取り組みです。
才能を埋もれさせず、ひとりでも多くの子供たちがサッカーへの関心を持続してくれることを目的としています。

- 【主催】 (公社) 岩手県サッカー協会
- 【主管】 (公社) 岩手県サッカー協会 キッズ委員会 11地区
- 【運営】 地区キッズ担当者、参加団体指導者、JFA キッズリーダー、ご協力いただける父母の方々など
- 【対象】 少年団・クラブチーム・スクールに所属するキッズおよび準ずるキッズで、傷害保険に加入していること

- 【内容】 2002年にJリーグ・アカデミー（当時プロジェクトリーダー山下則之氏）が提唱した「補欠ゼロ＝参加するすべての子供たちに均等に試合の機会を提供する」の考え方を基本として、参加団体の対抗戦ではなく、集まった子供たちをシャッフル混成チーム分け（補欠を作らず4～5人制）して、そのチームでその日限りのリーグ戦を戦い抜きます。

- ★試合には常にレギュラー選手としてフル出場
- ★混成するので団員1人での参加も大丈夫
- ★4～5人制でボールに関わるチャンスが多い
- ★混成チームの中でプレーすることで社会性を養う



一関地区

ダイジェスト





■ 2016年12月17日

U-6 5名、U-8 25名、U-10 36名

- ☆ U8の参加人数が少なかった為、今節も午前一斉開催でした。
- ☆ U10は、クリニックはアイスブレイク（5人で両手を繋いで、輪になれるか）、クーバートレーニング3種類（ブルプッシュ系）、4方向からの混雑ドリブルを行いました。合間のトレーニングはワンタッチパスの連続を実施して、プレー後の「動く」「声掛け」をテーマにして実施しました。
- ☆ U8は、クリニックはアイスブレイク（あいこジャンケン、負けジャンケン、手つなぎドリブル等）、ドリブル（フェイント）を行いました。合間のトレーニングはフリードリブル、足裏ストップを実施しました。
- ☆ U8年代は、元気が良く、子供もスタッフも楽しく実施出来ました。U10年代は前回から引き続き声が少ない、小さいです。コミュニケーションが大事ということを残り3節で指導していきたいです。

（千葉晃徳）





■ 2017年1月21日

U-6 5名、U-8 27名、U-10 24名

- ☆ U8、U10 共に参加人数が少なかった為、今節も午前一斉開催でした。
- ☆ U10 は、クリニックはアイスブレイク（5人で両手を繋いで、輪になれるか）、クーバートレーニング3種類（ジヨグ・サイドジヨグ・トータップストップスキップ）、ドリブル→インサイドターン・ステップオーバーターナーパスを行いました。合間のトレーニングは、「詰まったらやり直す」をテーマに3対3 プラスサーバーのポゼッショントレーニングを実施しました。
- ☆ U8 は、クリニックはアイスブレイク（後出しジャンケン・こおり鬼等）、対面のパス&ゴールを行いました。合間のトレーニングは、マーカーをよけながら前に進むドリブルを実施しました。U6 はボールフィーリング（足裏いい子いい子等）を実施しました。
- ☆ U8年代は、元気が良く、子供もスタッフも楽しく実施出来ました。U10年代は合間のトレーニングの内容を後半のゲームで活かしているチームが多く、吸収の度合いが早くて良かったです。残り2回の実施で、全員でチャレンジ&カバーを体現出来るように声掛けしていきたいです。

（千葉晃徳）





■ 2017年2月25日

U-6 4名、U-8 25名、U-10 30名

- ☆ 施設利用予約の関係の為、今節は午前一斉開催でした。
- ☆ U10は、クリニックはアイスブレイク（5人で両手を繋いで、輪になれるか）、リフティング（止まったまま・前進しながら）、ドリブル・インサイドターン・アウトサイドターンを行いました。合間のトレーニングは、前に進むドリブルが多かったので、ターンで方向転換して横に抜けるドリブルの練習を実施しました。
- ☆ ☆U8は、クリニックは鬼ごっこ、三角形・四角形パスを行いました。合間のトレーニングは、スローインの練習とクーパー（トータップ）を実施しました。U6のクリニックはカニさん走りや後ろ向き走り等のコーディネーション、投げてキャッチ・お散歩ドリブル・シュートを実施しました。
- ☆ ☆今節もU6とU8は分離実施。U6の参加児童が楽しそうにやっていたので良かったと思います。U10はどんどん上手になっていますが、状況判断の選択肢が少ないので、最終回は選択肢を増やせるようにクリニック内容も意識したいと思います。

（千葉晃徳）





■ 2017年3月11日

U-6 6名、U-8 18名、U-10 24名

- ☆ 参加人数が少なかった為、午前一斉開催でした。
- ☆ U10は、クリニックはアイスブレイク（5人で両手を繋いで、輪になれるか）、鬼ごっこ（しっぽ取り）、フリードリブル（他人のボールを蹴り出す）をだんだんエリアを狭くして実施しました。合間のトレーニングは4対2のパス交換を実施しました。
- ☆ U8は、クリニックは鬼ごっこ（手つなぎ）、投げてキャッチ、蹴ってキャッチ、弾んだボールのコントロールを実施しました。合間のトレーニングはターンからのコントロールを実施しました。
- ☆ U6は、動きづくり（ケンケン、ケンケンパー）、後ろ向きジョグ、カニさん走り、投げてキャッチ、お散歩ドリブル、シュート練習を実施しました。合間のトレーニングは1対1プラス手つなぎキーパーを実施しました。今節も笑顔が多く楽しそうにプレーしていました。

（千葉晃徳）



2016 一関地区 キッズ補欠ゼロリーグ



【参加団体】

一関南FC、萩荘SC、中里フレンズSC、千厩SC、東山FC・Jr、藤沢FC、一関キッズFC カワサキ、花泉FC

【運営スタッフ】

市協会： 千葉晃徳（県協会県南支部キッズ部会長、一関南）

岩井（千厩）、藤本（カワサキ）、佐藤（藤沢）、浅井（中里）

協力： 池田・金野・畑山（一関南）、中村・鈴木・小野寺（東山）、石川・福士（キッズ）

橋本（中里）、加藤（花泉）、千葉（萩荘）、菊地（藤沢）、千葉（ムロネ）

千葉すみれ

県協会： 鎌澤



責任者 コメント

今年度も無事に最終節を終えることが出来ました。

運営スタッフをはじめ、ご協力頂いた各チームの協力スタッフの皆様のご協力を頂けたことに感謝しております。

市協会 佐藤正廣さん、鈴木智さんと相談をして、一関地区補欠ゼロリーグを開催するようになりまして、7年が経過しました。

若くて向上心の高いメンバーが今後も携わってくれることが決まりましたので、役職から引退することになりました。

県協会キッズ委員会の皆様はじめ、一関市サッカー協会4種委員会の皆様、一関地区キッズ関係者の皆様のご協力があった7年間だと思っております。

今後も一関市内の幼稚園等の巡回指導、キッズフェス、県協会主催のキッズフェスには微力ながらお手伝いさせて頂きたいと考えておりましたので、今後も宜しくお願い致します。

今まで本当にありがとうございました。

岩手県サッカー協会キッズ委員会 県南支部会長 千葉晃徳

（編集： 鎌澤）

